



うちだっ子

重点目標 自分^{いち}一 で みんな^{いち}一 【校長：田中正信】

今回の学校だよりは、『子どもたちの学びを深めるための手立て』として、本校の研修主任(5年担任:難波)からのお知らせになります。

内田小学校では、授業で学んだ内容の復習(指定された課題)や今の自分に足りない力を伸ばすチャレンジ学習(3年生以上)を、家庭学習で行っています。そして、2学期から『ノート展』を行っています。

なぜ始めたかという...!

1学期の子どもたちの学校生活(学び)を、職員で振り返った時に、

・お手本になるチャレンジ学習をクラスルームにて紹介したけれど、

※もっともっと「よさ」が広がるようにしたい!

・単学級のため、刺激が少ないかも…

※自分たちのまなび方を見直すきっかけがほしい!



このような意見が出されたのをヒントにして、

日頃の学びを充実させるイベント! 「自分一のノート展」

が行われるようになりました。

全校のみんなのノートを見合うことを行い、1回目のノート展では、「こんなノート作りいいな。」を見つけると、第2回目のノート展までに、「自分の学びを深めるためのノート作りをしよう!」と前向きにチャレンジしている子が増えていきました。あこがれが見つかったり、誰かにほめてもらったりする経験が、大きな原動力になったのだと思います。

さて、今日(12日)から第3回目のノート展が始まりました!今回は、自分の学年と、1つ上の学年のノートだけをじっくりと見ることにしました。来年度に向けて、「自分史上のその先」に行けるヒントを見付けることができた

ら良いなと考えています。

3学期は、「実を实らせよう」の合言葉で、一年の成長を振り返るステージです。具体的には、「どんなことができるようになったかな?」と、自分や、友達同士、クラスの仲間と、共に成長を見付けて伝え合ったり、「実(みのり)カード」に記入したりすることを大事にしています。

今回はこのノート展と、ステージの取組とタイアップして『ノート展で見つけた良さを「実カード」に記入して、本人の手元にわたる』こととしました。認めてもらえた嬉しさが、次の原動力になっていくことと思います。

そこで…保護者の皆様にお願ひです！

明日(13日)は、今年度最後の授業参観・懇談会です。ここでは、一人一人の子どもたちが、「学びに向かう『自分一』の姿を、お家の人に見てもらいたい!」と張り切って学習に参加することとします。

そこで、頑張っている子どもたちに、お家の方が見つけた「子どもの成長やがんばり」を伝えるために「実カード」への記入をお願いしたいと考えています。もちろん、ノート展で展示されているノートに対するコメントでも構いません。「ちょっとした進歩」を認めることが、次のやる気に繋がります。よろしくお願ひします。

各教室の入口に、「実カード」が置いてあります。その近くに、封筒を用意しておくので、記入後は、その封筒の中にお入れください。

「実カード」は、多めに用意してあります。我が子はもちろん、他のお子さんにもコメントをお願ひします。

